

**第5回（2005年度）佐治敬三賞は  
「next mushroom promotion vol.8  
『細川俊夫～50年のランドスケープ』」に  
決定**

財団法人 サントリー音楽財団（理事長・堤剛）は、わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈る「佐治敬三賞」の第5回（2005年度）受賞公演を「next mushroom promotion vol.8『細川俊夫～50年のランドスケープ』」に決定しました。

●選考経過

1. 応募のあった2005年実施公演について2006年1月9日（月・祝）東京・丸の内東京會館において、選考委員9名により第一次選考を行った。
2. 引き続き3月14日（火）東京全日空ホテルにおいて最終選考会を開催、選考委員9名により慎重な審議の結果、第5回（2005年度）佐治敬三賞に「next mushroom promotion vol.8『細川俊夫～50年のランドスケープ』」が選定され、16日（木）理事会において正式に決定された。

●賞金は200万円。

●選考委員は下記の9氏。

磯山 雅・伊東信宏・岡田暁生・岡部真一郎・白石美雪  
榎崎洋子・沼野雄司・船山 隆・三宅幸夫

（敬称略・50音順）

## <贈賞理由>

ネクスト・マッシュルーム・プロモーションは、一人の作曲家をとりあげて体系的にその作品群の全貌を捉えようとする大胆な演奏会企画を関西で開催してきた。ケージ、クセナキスなどをとりあげて、もう8回目となるのだが、今回は50歳の誕生日を目前に控えた細川俊夫をテーマとして、彼の高校生の頃の作品から2004年に書かれたばかりの「ドロイング」(日本初演)までが演奏された。「習作期～ドイツ留学時代」「帰国～秋吉台セミナー監督時代」「日独往復生活～国際的作曲家として」という三部構成。20人の奏者たちが午後2時から8時半にかけて、半日ばかりで15曲を演奏する。まず、こんなに妥協のない企画が、実現したことに拍手を送りたい。

そして今回、細川俊夫という、企画者たちにとって最も身近で、しかも影響力の大きな存在を取りあげたことで、演奏会は一層親密で充実したものとなった。なにより演奏者たちの真剣な取り組みがすがすがしい。ルクセンブルクのアンサンブル・ルシリンを中心としながら、すでに実績のある上田希から大学在学中の若手に至るまで、関西にゆかりのある奏者たちが、細川の音楽に挑む。

奇を衒わない正面突破の試みだが、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演、という佐治敬三賞の精神にまさしく相応しい演奏会だったと言える。

## <公演概要>

名称：「next mushroom promotion vol.8『細川俊夫～50年のランドスケープ』」

日時：2005年10月15日(土)

第1部 14:00～15:30 「習作期～ドイツ留学時代」

第2部 16:00～17:30 「帰国～秋吉台セミナー監督時代」

第3部 19:00～20:30 「日独往復生活～国際的作曲家として」

会場：ムラマツリサイタルホール新大阪

曲目：<第1部>「習作期～ドイツ留学時代」

ピアノのための3つの小品より 第1曲(1972/世界初演)

ピアノ=細川俊夫

ウィンター・バード(1978) ヴァイオリン=辺見康孝

フルート、ヴァイオリン、ヴィオラとチェロのための音楽 序破急  
(1980/日本初演)

指揮=細川俊夫、フルート=奥田律、

ヴァイオリン=アンドレ・ポンス=ヴァルデス、

ヴィオラ=ダニエル・エニコウ、チェロ=クリストフ・ボー

恋歌 I (1986) ソプラノ = 太田真紀、ギター = 金谷幸三  
線 II (1986) チェロ = 多井智紀

< 第 2 部 > 「帰国～秋吉台セミナー監督時代」

断章 III (1989/日本初演) 指揮 = 細川俊夫、フルート = 奥田律、  
オーボエ = 大植圭太郎、クラリネット = 上田希、  
ファゴット = 岡本真弓、ホルン = 里田泰昭

鳥たちへの断章 IV (1991/日本初演)

チェロ = クリストフ・ボー、打楽器 = ギイ・フリッシュュ、  
笙 = 木場俱子

ヴァーティカル・タイム・スタディ I (1992)

クラリネット = 上田希、チェロ = 多井智紀、  
ピアノ = 金井亜沙美

夜の響き (1994) ピアノ = 金井亜沙美

ヴァーティカル・タイム・スタディ II (1993/94)

サクソフォーン = オリヴィエ・スリーペン、  
ピアノ = パスカル・マイヤー、打楽器 = ギイ・フリッシュュ

< 第 3 部 > 「日独往復生活～国際的作曲家として」

風の姿 (1996/日本初演) 打楽器 = 大竹秀晃、葛西友子

メモリー (1996) ヴァイオリン = 木場俱子、

チェロ = クリストフ・ボー、ピアノ = パスカル・マイヤー

デュオ (1998) ヴァイオリン = 辺見康孝、チェロ = 多井智紀

秋の歌 (2001) 指揮 = 細川俊夫、クラリネット = 上田希、

ヴァイオリン = 木場俱子、アンドレ・ポンス = ヴァルデス、  
ヴィオラ = ダニエル・エニコー、チェロ = クリストフ・ボー

ドローイング (2004/日本初演)

指揮 : 細川俊夫、フルート = 奥田律、オーボエ = 大植圭太郎、  
クラリネット = 上田希、打楽器 = 葛西友子、

ピアノ = 森本ゆり、

ヴァイオリン = アンドレ・ポンス = ヴァルデス、

ヴィオラ = ダニエル・エニコー、チェロ = クリストフ・ボー

主催 : next mushroom promotion

代表・企画制作 = 福井とも子

以 上

(ご参考)

## 佐治敬三賞について

(財) サントリー音楽財団(理事長・堤剛)は、故・佐治敬三(元サントリー株式会社社長、元サントリー音楽財団理事長)の功績を記念して、2001年度(平成13年度)から「佐治敬三賞」を創設しました。

この「佐治敬三賞」は佐治の音楽への深い愛情と理解およびチャレンジ精神、パイオニア精神を承継し、新しい世紀のわが国における音楽公演活動の一層の振興を願って、氏の名を冠した新しい賞として制定されました。

この賞は、毎年わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈られるもので、応募のあったものの中から選定されます。賞金は200万円。

故・佐治敬三は、早くから文化事業への支援に力を入れ、特に音楽界においては鳥井音楽財団(現サントリー音楽財団)を設立、サントリー音楽賞をはじめとするわが国の洋楽の振興を目的とした諸事業のほか、東京初のコンサート専用ホール「サントリーホール」の建設・運営などを行ってきました。

1999年11月3日に急逝した佐治の遺族から“音楽界のために役立ててほしい”として遺産の一部が寄付されたことから、財団で検討した結果、「佐治敬三賞」の創設にいたりました。

### — 記 —

1. 名 称 「佐治敬三賞」
2. 選考対象 毎年1月1日から12月31日の間に国内で実施された日本人を主体とする音楽公演で応募のあったものが対象になります。清新、独自、冒険の意欲、あるいは若々しさに満ちた企画であり、かつ公演成果の水準の高いすぐれたものを選定します。
3. 選考方法 応募のあった公演について審査を行い、翌年3月の佐治敬三賞最終選考会で受賞公演を選定、発表します。

4. 選考委員 選考はサントリー音楽賞選考委員により行われます。  
\* 第5回（2005年度）佐治敬三賞の選考委員は、  
磯山雅、伊東信宏、岡田暁生、岡部真一郎、白石美雪、  
植崎洋子、沼野雄司、船山隆、三宅幸夫の各氏です。  
（50音順、敬称略）
5. 賞 賞状、賞金200万円
6. お問い合わせ先 サントリー音楽財団  
〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-2-3 赤坂見附 MT ビル  
電 話 (03) 3479-1594  
F A X (03) 3479-2101  
<http://www.suntory.co.jp/culture/smf/>

#### これまでの受賞公演

##### 第1回（2001年度）

「篠崎史子 ハープの個展 VIII ～新たな領域を求めて～」

2001年10月19日 東京文化会館小ホール

「Just Composed 2001 in Yokohama ～現代作曲家シリーズ

～大野和士が描く新世紀の音楽絵巻」2001年8月31日

横浜みなとみらいホール

##### 第2回（2002年度）

「アンサンブル・ノマド 2002年度定期演奏会#1」

2002年9月17日 東京オペラシティ・リサイタルホール

##### 第3回（2003年度）

「現代の音楽展 2003 室内オーケストラの領域 III」

2003年3月17日 東京文化会館小ホール

##### 第4回（2004年度）

「三井の晩鐘」

2004年10月24日 イシハラホール

## 第6回（2006年度）「佐治敬三賞」応募について

2006年1～6月実施公演の応募受付は終了しました。

2006年7～12月実施公演の応募方法は以下のとおりです。

- ・対象公演 2006年（平成18年）7月1日から12月31日の間に国内で実施される音楽を主体とする公演。
- ・応募方法 所定の応募用紙にて応募いただきます。公演の記録映像、録音、印刷物などがある場合は資料として提出いただく場合があります。応募要項・用紙は、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵送またはFAXにてサントリー音楽財団までご請求下さい。また財団ホームページからもダウンロードできます。
- ・応募期間 2006年4月1日から5月31日

以 上